

研究概要

社会科学習における深い学びは、一人一人が自ら進んで多様な他者と協働しながら問題解決を図ると共に、広い視野からの選択判断や合意形成・社会参画を視野に入れた議論などを通して実現します。そして、子どもは、深い学びを通して、確かな知識を獲得する。確かな知識を身につけた子どもは、予測困難な未来社会において、よりよい社会を創造し、持続可能な社会の担い手となります。

そこで、大会主題を「確かな知識をもとに、よりよい社会を創造できる子どもを育てる社会科学習」とし、①教育課程②指導法③評価の側面から実践的研究に取り組んでまいります。



みなさまにおかれましては、新型コロナウイルス感染症から子どもたちを守るため、あらゆる対策にご尽力のことと存じます。このような状況の中ではありますが、大阪府小学校社会科教育研究会では、子どもたちが「確かな知識」を習得し、よりよい社会を創造できる力を育てていくことをめざして研究を進めています。

令和3年10月、大阪大会を開催し、大阪府の社会科研究を全国の先生方に紹介してまいります。昨年9月に、全国に1次案内をお届けしましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、当初予定しておりました内容を大きく変更して開催いたします。

新型コロナウイルス感染症が一日も早く収束に向かうことを願いますとともに、本大会に全国からたくさんの方々のご参加をお待ちしています。

大阪大会実行委員長 村上 昌志